# 生徒の成長（能力向上）のために、教師はどのように成長（変容）していけるか

## ～『教員聞き取り調査2014』の結果と合わせて～

髙木亜希子（青山学院大学）

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2015

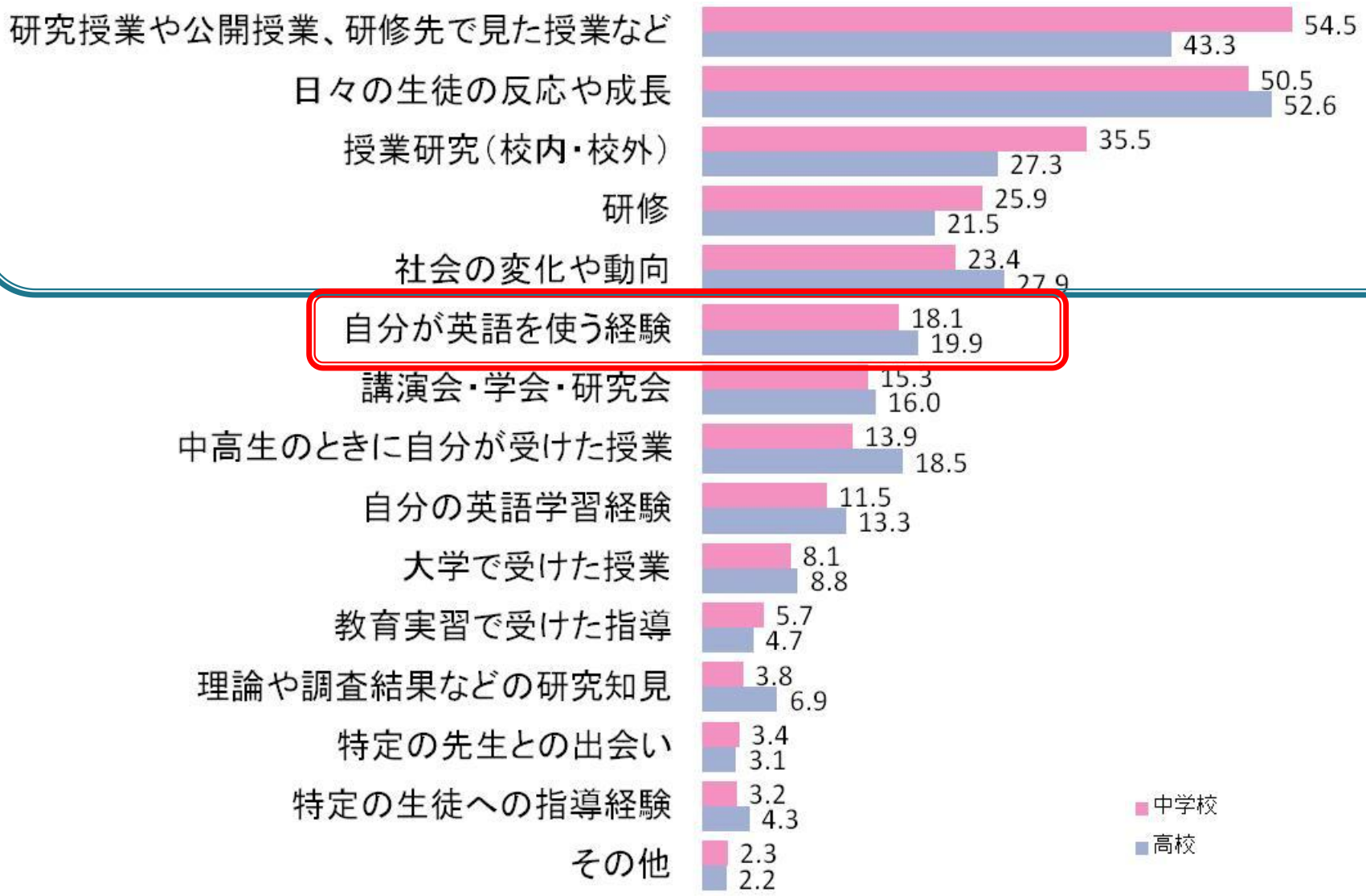
# 教師の成長（変容）
# 1．キャリアとしての長期的視点

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2015

# 『教員聞き取り調査2014』

| | |
|---|---|
| 子どもに寄り添う | 子どもの学習状況、発達や興味・関心に寄り添うこと |
| 自らの成長 | 英語力向上の自己研鑽<br>指導、授業運営の研究・実践・振り返り |
| 最善を求め続ける | 「子どもに寄り添う」こと、「自らの成長」の両方に<br>常に最善を尽くし、継続 |
| 英語を使う経験 | 英語を使って人とつながるということの素晴らしさや<br>喜びを先生自身が体験し子どもたちにも伝えたい、<br>経験してほしいという思い |
| 変化 | 子どもの日々の小さな変化への心配り<br>国内外で起こっていること、教育行政の新しい動きへの敏感さ<br>新しい価値観を受け入れながらの教師自身の変化 |

# 『今回の調査2015』指導に影響を与えているもの



# 将来の必要性とイメージ（2014,2015調査）

中高生徒、中高教員　「必要」9割

中高生徒　「使わない」4割

中学教員　「使わない」2割

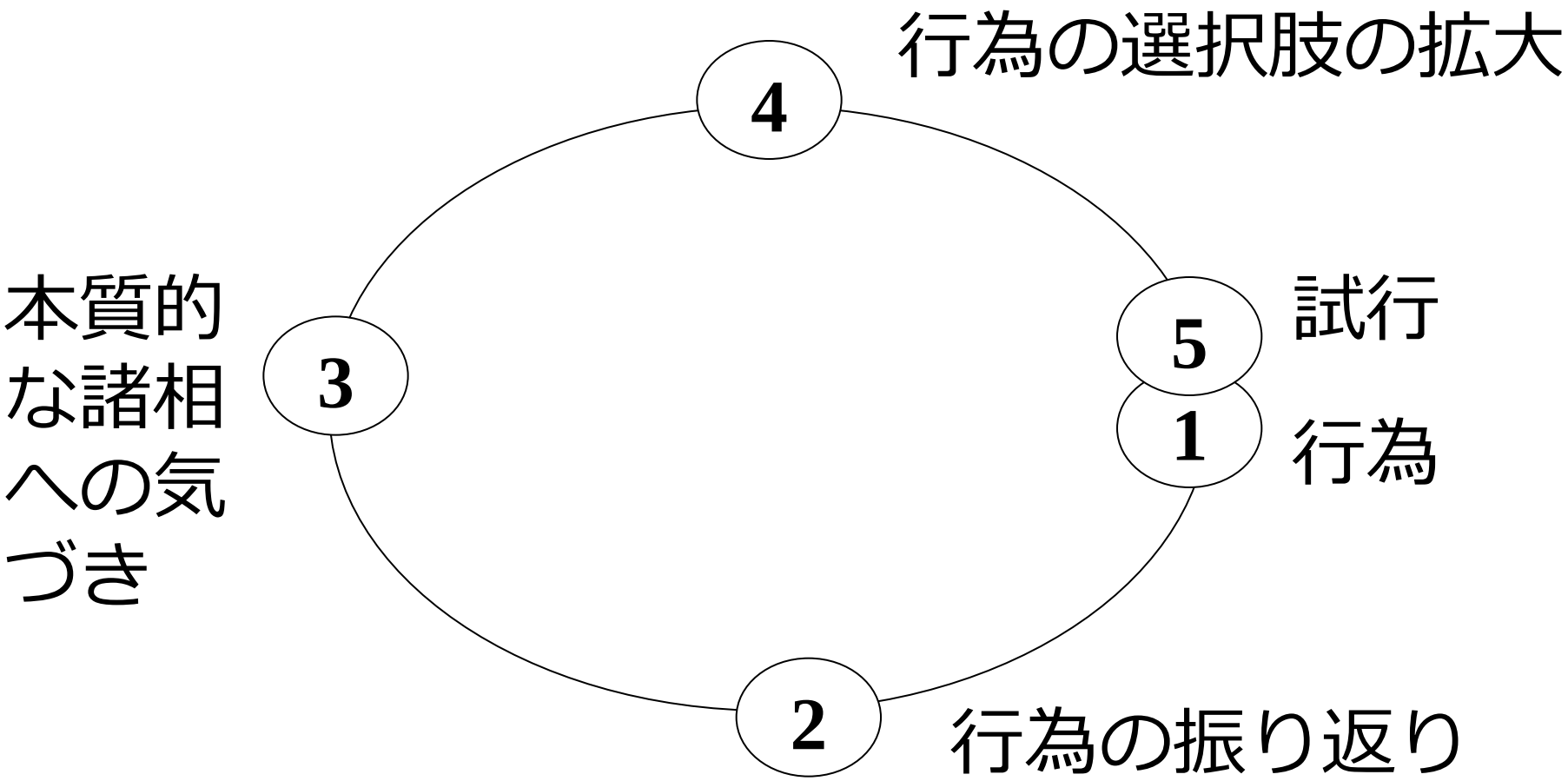
高校教員　「使わない」３割

# 教師の成長（変容）
# 2. 日々の授業の振り返り

# 『今回の調査2015』授業の振り返り



# ALACTモデル（コルトハーヘン, 2010）



# 振り返る４つの視点（コルトハーヘン, 2010）

| | | |
|---|---|---|
| 思考 | 私は、何を考えていたか | 生徒は、何を考えていたか |
| 感情 | 私は、どう感じていたか | 生徒は、どう感じていたか |
| 望み | 私は、何をしたかったのか | 生徒は、何をしたかったのか |
| 行動 | 私は、何をしたか | 生徒は、何をしたか |